

過去最高の空き家率

2018年10月時点の住宅・土地統計調査によると、国内の住宅総数に占める空き家の割合は過去最高の13.6%でした。

空き家 846万戸 ÷ 住宅総数 6,242万戸
＝空き家率 13.6%



ここに言う空き家には、賃貸用で入居待ちの物件も含まれますが、空き家が増加しているトレンドには変わりありません

空き家が多くなると、街全体の治安に影響を与えます。また、所有者不明の空き家があれば、再開発の壁になります。

所有者不明家屋が増えているのは、人口減で需要が伸びていないのに大量の住宅建設が続いているためです。

2018年度の住宅着工件数は、約95万戸で、前年度比0.7%増です。

新しい家が供給過剰になれば、老朽化した住宅は見向きもされなくなります。

まだ使えるうちにリフォームをすれば、新たな使い道が見つかるかもしれません。

「安心R住宅」や「空き家バンク」という取組は始まっています。

《空き家率ランキング》

1	山梨	21.3%		・	・
2	和歌山	20.3%	42	神奈川	10.7%
3	長野	19.5%	43	愛知	11.2%
4	徳島	19.4%	44	神奈川	10.7%
5	高知	18.9%	45	東京	10.6%
6	鹿児島	18.9%	46	沖縄	10.2%
	・	・	47	埼玉	10.2%

とはいえ、新しい家に住みたいというのも人情です。

住宅を作るのならば既存の住宅地に！

農地や工場跡地に新築住宅を建てることを抑えて行かないと、最後には日本国中空き家で溢れてしまいます。